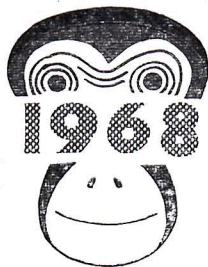


謹賀新年

あけまして
おめでとうございます

皆さんお元気でよいお正月を迎えられたことでしょう。昭和43年がどなたにもよいお年でありますよう、お祈りいたします。



入善 報 1204 せん

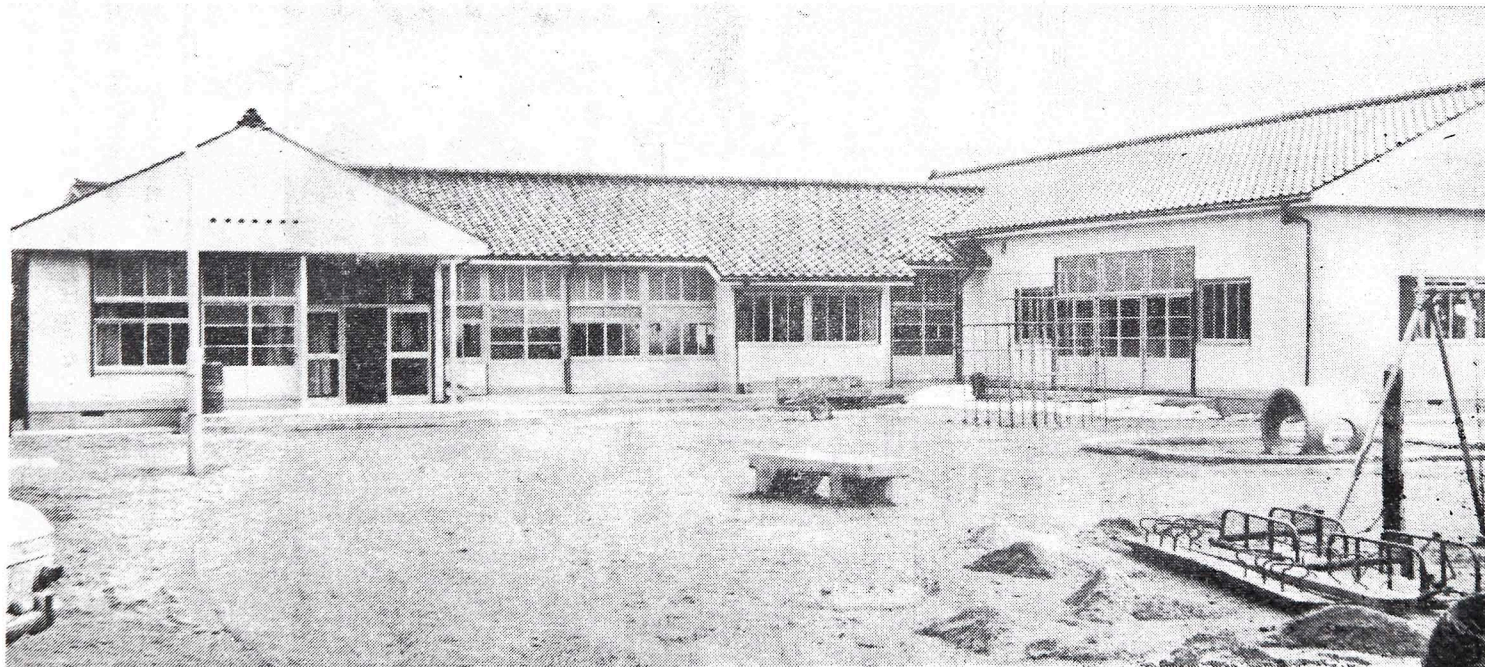
発行 富山県入善町役場
編集発行責任者 本田清治
印刷所 入善町田中印刷所

No. 132

昭和43年1月1日発行

東部保育所が完成

待望の東部保育所が児童遊園地横に完成しました。面積は約500平方メートル、木造モルタル、カワラぶきで140人を収容でき、12月15日から開所しています。



町の人口	28,763
男	13,562
女	15,201
世帯数	6,483

1月1日現在

ことしも

大豊作を期待



町長 米沢甚吾

輝かしい昭和四十三年の新春を迎えおめでとうございます。昨年中はこのほか町民のみなさまからご指導ご援助をいただき、深く感謝申し上げます。今年も昨年倍してよろしくお願い申し上げます。

さて、今年、明治百年という我々にとりましては誠に喜ばしい年であります。

世界においては、本年こそ万難を排して平和の実現ができるよう最大の努力をなすべき年であると考えております。

また、わが日本の国においては、従来の技術革新、経済の発展をより進め、経済、文化、交通その他の面においても画期的な進展を期待しているものであります。

富山県においては、新産業都市の一端である富山新港の一部が完成することにより、国内の交通貿易はもろんソ連および中共との貿易の拡大を期待するものであります。

わが入善町におきましては、昨年の未曾有の大豊作を今年も確保するよう、今から努力しなければならぬと存じます。

工業生産、中小企業の関係においても飛躍的發展を願ってやみません。

なおまた諸種の災害の防止、ことに交通災害の一件もないよう念願するものでありまして、町民みなさんの一層のご協力をお願い申し上げます。

年頭にあたり町民各位のご健康とご幸福を心からお祈り申し上げ、一言述べましてごあいさつといたします。

流域変更反対を陳情

黒部／入善 合同で抗議大会ひらく



黒部川とともに生き、今後も永久に黒部川の水によって生活し、産業の開発と福祉の向上を図らねばならないわれわれにとって流域変更は生死をかけた重大事である……と、十二月二十六日、入善、黒部住民代表やく百二十名が県庁へ押しかけ、陳情、抗議しました。

関西電力の朝日発電所建設計画に伴う黒部川の流域変更に対して、入善町黒部川流域変更反対実行委員ら町民代表やく七十人は、黒部市民代表やく五十人とバス三台に分乗、白ハチマキ、白タスキ姿で県庁に押しかけ四階大会議室で抗議大会を開きました。

黒部、笹島、荻野の三県議が激励のあいさつをしたあと、富平黒部市議会議長が知事に対する決議文を、長島入善町議会議長が関西電力に対する決議文を声高らかに読みあげ、つづいて代表が吉田知事にあつて決議文を手渡し、引きつづいて関西電力北陸支社を訪れて決議文を渡しました。

四十一年度決算を認定

第十九回町議会定例会

第十九回入善町議会定例会は十二月二十五日午後一時から開かれ、予算三件、条例案五件、議会議案一件、報告一件、決算五件、請願陳情四件について慎重に審議をした結果、全案件とも原案どおり可決、承認、採択しました。

二千三百七十七万一千円を追加、総額を五億二千三百二十七万一千円としました。追加されたおもなものは、道路新設のための用地買収費百万円や、舟見分団の消防屯所修繕費、入善小学校の照明電気工事費などです。

採択された請願と陳情
○町道西町線の道路舗装について
入善小普通教室の照明設備について
入善小PTA
○入善町公民館活動運営費増額について
各地区公民館

昭和四十一年度決算については、監査委員、決算特別委員会の審査報告のあと、一般会計歳入四億八千二百八十二万四千四百五円、歳出四億六千三百三十五万一千五百五十一円のほか、国民健康保険、簡易水道、公園分収造林、工場誘致事業の四特別会計決算を認定しました。

昭和四十二年度一般会計補正予算では、歳入歳出にそれぞれ

ご寄附 感謝いたします

交付金品	寄附者
キャンプ用天幕 10張	芦崎 西島 栄作
ヤマハオルガン 10台	山下 政吉
ニッポンフック 1台	伊野 清作
図書室用書架 1組	井田 善一
給食室用皮剥機 1部	上原 小学校 P T A
東芝テレビ(王座) 6台	横山 小学校 P T A
学習観察造園	飯野 小学校 同窓会 P T A 飯野 小学校
テレビ 2台	宿 谷 川 竹 弘



町議会 議長
長島 啓太郎

町民のみならず、明けましておめでとございます。

昭和四十三年の新春を迎え、みなさまの胸には新しい希望と脈々たるフアイトがみなぎっていることと思います。

今や、入善町は真の農業基幹都市をめざして各地区で農業構造改善事業や大規模整備事業が進められております。目下建設中の農業センターが完成すれば、可農業の発展は期して待つべきものがあると信じます。また入善―泊間の複線開通、産業道路、路平線の完工、東部保育所の建設、奨学資金制度の新設など、数々の事業が行なわれたほか、長い月日と多数郷土史家のご協力によって立派な町誌が編さんされたことは、永久に本町歴史の一ページを飾る偉業であると思います。

一方、ここに片時も忘れてはならない大きな問題も残っております。それは、われわれ町民の生死を左右する黒部川の流域変更問題であります。

われわれは、先祖代々豊かで清らかな黒部の水と共に生き、この水を糧(かて)として暮らして来ているのであります。文明が近代化するにつれて、ますます水の需用は増してまいります。「水を制するものは世界を制す」というも過言ではございません。

この新しい年において、町民の幸福、町の発展のために、なすべき事業は多々あります。

しかし、私は、あらゆることに先がけて考えなければならぬこと、それは流域変更に対する反対運動であると思えます。

私はここに全町民が打って一丸となり、流域変更阻止のため立ち上がられることを願います。とともに、新しい年のご多幸をお祈りして、あいさついたします。

黒部川 流域変更 反対を決議

活発な意見が続出した青年議会

第十四入善町青年議会が十二月十八日(月)午後一時から開かれました。

五十里連青団長のあいさつ、寺崎町助役、長島町議会議長、広田町選挙管理委員長の祝辞のあと、総務、文教厚生、産業建設の各委員会報告が詳細に述べられ、続いて議員から提案された○野中保育所の設立、○青年会館の設立、○黒部川流域変更反対運動の推進、の三議案を活発な討論のち満場一致で可決しました。

このあと町政に対する一般質問に入いったわけですが、各議員の勉強ぶりは目を見張らせるものがあり、綿密な資料をそろえての質問に町当局もたじろになるほどでした。この気持をいつまでも忘れず、明るい町づくりのために尽くしていただきたいものです。

一般質問

交通安全対策にどのような配慮をしているか。

当初予算は少なかったが、現在は昨年を上回る予算になっている。また、交通安全指導員、推進員を委嘱して強力に思想普及に努めている。

町の将来をになう青少年勤労者の町外流出を防ぐための町の対策はどうか。

工場誘致に力を入れるほか、近く完成する農村青年研修館をフルに活用して、魅力ある農業づくりのための後継者の育成につとめる。

野中保育所の建設について町の考えを聞きたい。

開所しても定員(六十名)に達しないので県から認可を受けられない。しかし、四十三年四月からはなんとか子どもを預かる施設を考えたい。

最近の青少年の非行化に有職者が多くなってきたているが、社会教育が足りないせいではないか。

非行化防止の問題は学校、家庭、職場、地域ぐるみの運動に盛り上げてはじめて効果があらわれることと思う。青少年のこい、教育、スポーツの場である青年会館の建設は予算の面から困難性があるが、農業センターが完成すれば現在の総合事務所に空室ができるので、その利用を考えている。

学校教育施設を充実し、父兄負担を軽減せよ。

教育というものは無限のもので、いくら予算を配してもこれだけでよいということはないが、逐次予算を増額し、施設の充実や父兄負担の軽減に努めている。

県下各地で町の総合開発に取り組んでいるが、当町はどのような計画を持っているか。

昭和二十九年に五か年新町建設計画がたられ、今日に至っているが、このほど企画財政課が新設され、町の財政計画と建設計画に力を入れて取り組んでいる。

青年議員氏名

- 小森九仁夫 ○宮腰明範 ○南地美智子 ○今井繁勝 ○上田健次 ○小路桂子 ○扇原久義 ○金山光夫 ○立塚穂子 ○浜田松雄 ○福沢純良 ○板川令子 ○杉田芳郎 ○竹内正義 ○川原弘子 ○中瀬昭夫 ○藤田政雄 ○長能己生子 ○松島真盛 ○砂塚明典



〔写真〕開会のあいさつを行なう五十里連青連合青年団長

「わが家の家計簿」体験談募集

家計簿記帳に関する体験談を募集しています。

- 400字詰原稿用紙5枚以内
- しめきり 2月29日
- 送り先
富山市堤町通
日本銀行富山事務所内
富山県貯蓄推進委員会

農業基本調査

農業を発展させるための資料にするために、ことしも2月1日現在で農業基本調査が行なわれますので、ご協力をお願いいたします。

電話料金の納入
毎月20日までに

自宅にいながら払い込みのできる銀行、農協等の口座振替制度をご利用ください。

戦没者に特別弔慰金

戦没者の遺族のみなさん、特別弔慰金の請求はすみしましたか。まだの方は、5月31日で時効になりますので、至急請求手続きをしてください。詳細は民生課へどうぞ。



田中分館長 田中三 次

まず、私のところを例に申しますと、昭和十六年に四間に六間の講堂をつくり、昭和二十七年に二階建を増築し、四十二・二坪の分館を仕上げ、現在にいたっている。

入善地区は他地区にさきがけて公民館分館をつくり、内容も充実した立派なものであり、そのため、他府県からの視察も少なくなかった。児童会運動、生産組合研修、生活改善運動、青年、婦人活動、法話会、読書会と目新しい事業を求めて前進された当時の先駆者の苦心に深甚なる敬意を表します。

近ごろはテレビの普及と農業技術の進歩、社会状況の変化等で、これらの活動もなにかしら一段落といった感じがします。そこで、現在分館運営にたずさわっている者の一人として、直面している問題点の中から入善地区分館長会の統一要望事項を申し上げたい。

人権相談日は 二か月に一回

お互いの人権守って 住みよい社会

暴力や嫁いじめ、悪口や噂、不当な解雇、金、土地、家屋、悪臭、騒音、汚水などからんだ生活上の問題に悩んでおられる方は、泣き寝入りするのではなく、人権法律相談所へおいでください。秘密を守り無料で相談に応じます。

- 今年から隔月(偶数日)の十日が相談日となりました。どうぞご利用ください。
○場所 入善町中央公民館
○時間 午後一時～三時
○担当 法務局係員および町の 人権擁護委員 竹内赤三右エ門

はじめに中央(教育委員会、中央公民館)より公民館活動について指導力を増強し、分館が一定の方向に、そして一緒に活動できるような指導、助言していただきたい。正直に言って、いたるところ、各分館長の考え方のしだいでバラバラな活動をしているのが実態である。最近の世相をみるに、以前より道徳観念が少々乱れすぎている。戦後、六・三制の教育となり、学校給食も充実し、体位の向上は実にすばらしい。しかし、精神面は大変ものたりない感じがする。

公民館活動は 現状のままではよいだろうか

凶悪犯罪、交通事故、暴力沙汰等、目にあまる事件が毎日の新聞を賑わしている。体位の向上と精神面の成長が車の両輪のごとく並行すれば、日本の予算もかなり安上りになるのではないかとそこで人づくりが一番大切だと考えられる。正しい日本人を育て、ともに笑顔で、仲よく理想の光をめざしてゆきたい。それには、一人が百歩進む

より、全員が手を握り、一歩二歩と着実に進むところに真の平和がある。信頼と尊敬を重んじ、互いに助け合い、励まし合っていて、正直者がバカをみないで、すむようにしなければならぬ。事件がおきてからではおそい。ところが、これらのことについて、中央公民館、地区公民館から何も呼びかけも指導もあつたことがない。もっと一貫性ある事業を行なう時期に来ているのではないか。つぎに、分館の財政面の悩みである。私たちが分館は相当にくたびれている。反対に、集まる子どもは元気がよい。腰板や床板、壁の補修費だけで、毎年数万円かかる。さらに、火災保険、地代、電気料、薪炭料、有線電話料等の出費がある。部落では毎年度はじめに一万五千円を計上するため、公民館割として徴収するが、いつも足りなくなり万難割で数万円まかっている。屑物売却や廃品回収ではとうてい追いつけない。「貧乏人

はじめに中央(教育委員会、中央公民館)より公民館活動について指導力を増強し、分館が一定の方向に、そして一緒に活動できるような指導、助言していただきたい。正直に言って、いたるところ、各分館長の考え方のしだいでバラバラな活動をしているのが実態である。最近の世相をみるに、以前より道徳観念が少々乱れすぎている。戦後、六・三制の教育となり、学校給食も充実し、体位の向上は実にすばらしい。しかし、精神面は大変ものたりない感じがする。

米島 一 信 野寺 林 造

ことしの相談日
2月12日(月) 4月10日(水)
6月10日(月) 8月12日(月)
10月11日(金) 12月10日(火)

住民登録法 大幅に変わった

いままでの住民登録法が廃止され新しく住民基本台帳法が昨年十一月十日より施行されております。

この法律により住民の権利、義務が住民登録に基づくことになり、住民登録がないときは選挙資格などはあり得ないことになりました。

変わった主な点
(一)前住所の転出証明書がなければ転入届はできない

の子だくさん」の感が強く、まったくお手あげの現状である。従って分館維持費を大幅に増額していただきたい。一年間三千万の補助であるが、これでは何もない。十年前も現在も同額では、物価上昇天井知らずの今日、分館の維持費でなく、単なる会合のお茶代だけといった方が適當だ。ぜひ、現在の三倍以上の希望をします。また、分館建築費および遊園地造成補助金はそれぞれ十万円、五万円であるが、公民館活動がその施設で大きく左右されることを考えるとき、分館維持費同様三倍に増額をお願いしたい。これらは大変困難なことであるが、解決の道を求めることこそ私たちが公民館関係者の責任であり、義務であると思う。静かに長く底辺を歩いてきた分館の実態を勘案され、明年度からの町政にぜひともおこいください。これは私のみの提案でなく、入善地区分館長会の一一致した要望であることを強く訴えます。

これは第十五回公民館分館長大会での意見発表の要旨をまとめたものである。
二十才になった人は、会社に勤めていたり、公務員であることよって厚生年金や共済組合から将来の生活が守られている人を除いて、すべて国民年金に加入しなければなりません。加入手続きは役場で簡単にできますので、成人の日を機会に国民年金を知り、大人になってはじめての国民としての義務を国民年金の加入手続きによって果たしておきましょう。

一月一日から戸籍手数料令の改正により、戸籍(除籍)の謄抄本、閲覧などいままでの「四十円」が「五十円」に改められました。
●戸籍謄本が五十円に
源泉還付申告書の提出は早めに
源泉還付申告書は一月一日以降、提出のあったものから順次還付されます。申告書に添付するため必要な源泉徴収票等は早めに請求し、申告書は、おそくとも一月末日までに提出してください。

大人の仲間入りは 国民年金の加入から

窓の意の善

あたたかいご芳志を
感謝いたします

入善町善意銀行

現金の部

(11月21日~12月31日)

預託 (寄附)	内容	金額
桐山新米田市次郎	20,000円	1,000円
入膳田中久栄	10,000円	2,000円
入膳竹内弥三右門	10,000円	
入膳田中ふじゑ	10,000円	
東洋紡績林むつ子	2,348円	
入膳米沢良吉	1,800円	
入膳9区柚木マツイ	10,000円	
芦崎伊野清作	10,000円	
呉紡労組入善支部	10,650円	
横山地区青年団	6,000円	
新屋地区青年団	2,951円	
飯野地区青年団	3,000円	
野中地区青年団	3,622円	
入膳10区児童クラブ	1,500円	
入善高校生徒会	9,728円	
入善中学校生徒会	840円	
上青中学校1年A組	910円	
入善高校1年3組	1,615円	
小摺戸小学校児童会	1,700円	
桐山常福寺仏教婦人会	1,000円	
入善町連合婦人会	5,000円	
入善養照寺門徒一同	5,000円	
第1生命入善支部職員一同	1,500円	
入膳城地編物学院生徒一同	6,000円	
富山四団ガールスカウト ブラウニー 同	1,000円	
舟見愛場やい次	5,615円	
ク小森繁	1,100円	
小摺戸永井みつえ	1,000円	
上野匿	100円	
青木森下ハツエ	944円	
下飯野塚田少り	532円	
桐山地区青年団	1,000円	
入膳上田初男	2,000円	
計 3 3 件		148,455円

物品の部		金額
入膳 佐田正義	醬油75本 歳末見舞品 (生保世帯)	
入善高校 生徒会一同	くつ下1足 ノート50冊	
上青中学校 生徒会一同	体操ズボン ほか18点	
入膳米沢良吉	洋かん9箱	
ク 米沢綾枝	シヨートケーキ 30個	
ク 扇谷幸吉	みかん 大1箱	
舟見三賀しさい	クリスマスケーキ 大1箱	
上野 浄蓮寺 玉池 流心	みかん 大1箱	
下新川 仏教布教団	粉石ケン箱入9箱 スリッパ	
計 9 件		

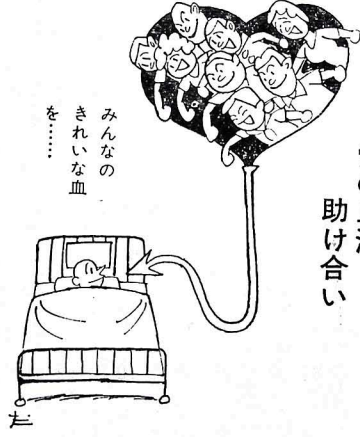
共同募金秋季募金	
ありがとうございます	
入善町社会福祉協議会 (昭和42年12月5日)	
共同募金	676,530円
歳末たすけあい金	175,980円
県福祉会館建設資金	117,320円
社会事業資金	205,330円
合計	1,175,160円
昭和42年度募金総額 2,367,950円	
日赤ほか春季募金	1,192,790円
共同募金ほか秋季募金	1,175,160円

輸血によって多くの病氣やけがの人々が救われていますが、この輸血用血液は、県下で毎月一千五百本（一本二百ミリリットル、一千五百人分）が必要です。ご承知のように、輸血用血液は業者の一部の人たちから血液を買って病院などに供給していましたが、血清肝炎等なおりにくい病氣を併発するようになり社会問題になりました。このため政府では、輸血用血液をきれいな献血でまかなうことに方針を定めました。富山県でも昭和四十年から移動採血車を用意して、皆さんに協力をお願いしています。年々実績があがり、今年は十一月ごろまで必要量の八十%を

二百ミリリットル 献血は一回に 輸血しても 体に影響なし。 十二月に入って急激に減り、病氣やけがの治療が十分できない事態になりました。どうか助け合いの精神で献血してください。 三十人以上の 献血希望者があれば移動採血車が出向いてまいりますから、役場（衛生係）へ申し込んでください。 町内、施設、母子寮へ

献血でお互いに
助け合いましよう

11月15日 採血車しろばと号 来町



みんなのきれいな血を……

愛の血液 助け合い

あなたのお申し込みをお待ちしています。 あなたの血液型は 何型ですか。 あなたは、自分の血液型を存じでしょうか。 血液型には、A型、B型、O型、AB型の四つがあります。輸血に際しては、血液型を知ることが最も基本的な条件です。昔はO型は、どの血液型の人にも輸血できるといわれていましたが、O型の中にも他の型へ輸血すると危険な副作用を起こすものがあることがわかりましたので、現在では同型の血液を輸血することが、常識となっています。 日本人における型の割合は、Aが四、Oが三、Bが二、ABが一の比率で分布しています。 自分の血液型を知りたい方は毎週火、木、金曜日に保健所へ行ければ、検査を受けられます。また献血されれば、あなたの血液型がわかるはずですよ。

献血された方には優先して血液を用意

献血された方には優先して血液を用意。 献血された方には優先して血液を用意。 バッチが交付され、あなたや近親の方に血液が必要になれば、優先して用意してもらえます。 献血は人のためばかりでなく自分のためでもあります。皆さん

